

# 「持続可能な社会」づくりの担い手をはぐくむ「中学生熟議」 広島県立広島中学校

## 1 活動概要

グローバルな視野で、生徒が環境問題や人権問題などを考え、それらの課題を自らの問題として取組成果をあげていくためには、「問題や現象の背景の理解」、「多面的かつ総合的なものの見方」をはぐくむことが必要であり、「体系的な思考力、批判力」、「データや情報の分析力」、「コミュニケーション能力」などの育成が欠かせない。同時に、「よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度」を育てたり、「人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力」を養ったりすることも重要である。

「中学生熟議」とは、中学生が学校という社会の一員として、さらには広く社会の一員として、よりよい集団生活や人間関係を築くために「話し合い」を重ねながら「共同して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を生み出そうというものである。中学生が集団生活の中で直面する身近な問題について、よりよい生活づくりを目指し、熟考しながら話し合いを重ね、社会に参画する態度や自治的な能力を育成していく。

## 2 本実践事例について

### (1) 本事例実施の背景・これまでの取組

本校では、平成 17 年度から中学校第 3 学年に進級する前に、リーダーを育て自治的な能力を高めるために、生徒会を中心とした「リーダー・セミナー」という合宿を実施している。

「リーダー・セミナー」では、リーダーとしての心構えやリーダーシップのあり方について講義を受け、身近な課題を取り上げ話し合ったり、協同して取り組む自主的な企画の立案をしたりする。平成 23 年度は選挙で選ばれたばかりの生徒会役員を中心に 32 名が参加し、2泊3日の日程で実施した。

「熟議」では、学校生活における自分たちの学年生徒の課題をブレインストーミングやマッピングなどの手法を用いて整理し、学年生徒全員に共有を図るために学年集会を企画・実施させた。その後、課題を解決していくための企画、提案を行い、実行へと移していった。

### (2) 指導のポイント

- ☆ 「中学生熟議」のテーマとしては、発達段階に即して、身近な生活の諸問題から「あいさつ」や「遅刻」等の課題を取り上げ、集団での解決が可能なものを選定させる。特別活動において実践する場合は、集団づくりに関わるテーマとする。
- ☆ 話し合う目的に即して内容や進め方、まとめ方の方向性を決めるなど見通しをもって話し合いの計画を立てさせる。その際、多くの考えが出るような手法として、ブレインストーミングやマッピング法などの手法を用いることも有効である。(付けたい力1)
- ☆ 自主的な活動にするために、司会や記録などの役割を分担し、一人ひとりが自分の意見を述べ合い、考えを深める場面を設定させる。お互いの意見を尊重するような話し合いのルールを作り、全員に意見が伝わるように事例や根拠をあげて説明させる。(付けたい力2)
- ☆ 集団としての結論を導き、一人ひとりが納得して解決に取り組むようにすることが大切である。(付けたい力3)

### 3 指導計画

◎ 本実践は、特別活動における生徒会活動に係るリーダー研修会である。担当教員の指導の下、生徒会役員を中心とした生徒がリーダーシップを十分に発揮して話し合い活動を進める「中学生熟議」である。

#### (1) ねらい

立場や考え方の違う人の考えを理解するとともに、相手を尊重しながら、協同的に課題を解決することができる力を培う。

#### (2) 対象学年 第2学年（全5時間）



	学習活動	指導上の留意点	評価
課題把握	1 目標を確認し、見通しをもつ。 <b>リーダーによる中学生熟議1</b> (50分) 2 学校生活における自分たちの課題について話し合う。 3 課題を整理し、「見える化」する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習意欲を喚起する。</li> <li>付箋などを活用させ、ブレインストーミングで多様な意見を出させる。</li> <li>マッピングの手法を活用し、課題を分類・整理させる。</li> </ul>	
目標設定	<b>リーダーによる中学生熟議2</b> (50分) 4 課題を学年生徒全員に共有させるために、学年集会の企画を立てる。 <b>リーダー主催の第1回学年集会</b> (25分) 5 第1回学年集会を実施し、課題の共有を図る。 <b>リーダーによる中学生熟議3</b> (50分) 6 第1回学年集会で出た意見を踏まえ、目標を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の各クラスと連携し、時間を設定する。</li> <li>学年集会の企画・運営を生徒にさせる。</li> <li>学年集会後、運営上の課題を整理させる。</li> </ul>	<b>【関心・意欲・態度】</b> ○立場や考え方の違う人の考えを理解しようとするとともに、相手を尊重しながら、協同的に課題を解決しようとしている。〔観察〕
課題解決	<b>リーダーによる中学生熟議4</b> (50分) 7 目標を達成していくための計画、方法、役割分担を決める。 <b>リーダー主催の第2回学年集会</b> (25分) 8 第2回学年集会を実施し、解決に向けた実施計画を提案する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進め方、まとめ方の方向性を決め、見通しをもって計画を立てさせる。</li> <li>誰にでもわかるように、計画書にまとめさせる。</li> </ul>	<b>【思考・判断・実践】</b> ○「熟議」の意義を踏まえ、リーダーがそれぞれの立場を自覚し、全体の雰囲気大切にしながら活動している。〔観察〕
まとめ	<b>リーダーによる中学生熟議5</b> (50分) 9 第2回学年集会の成果と課題を整理し、実行に移す準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で決定していったことを、どのように実行に移すかを具体化し、組織的な行動に移させる。</li> </ul>	<b>【知識・理解】</b> ○「熟議」の意義を踏まえ、立場や考え方の違う人々を理解している。〔観察〕

### 4 生徒の反応

自治的な活動の大切さを学びました。このセミナーに参加していなかったら他人まかせにして、集団に対する意識を高めることができなかったと思います。

皆で団結し、話し合いを重ねることでリーダーとしての責任が持てるようになりました。最初は、集団を引っ張っていくことだけがリーダーの仕事だと思っていましたが、裏で支えたり、意見を出したり、全体の事を考えて行動するというのもリーダーの仕事なのだと実感しました。

参考 「中学生熟議」のすすめ（文部科学省）

